

質問に対する回答について
工事名) 磐越自動車道 束松トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	金抜設計書において、番号 112-ロックボルト工 G (L=3.0) は 4,525 本が計上されています。これは、束松トンネル詳細設計業務-第3編 設計報告書(2工区トンネル編) - 第 16 章 数量計算書 (II-4-9 頁) の積算用数量表 (7) の計算によるものと考えます。積算用数量表 (7) では断面パターン DIIIa(H)-C-RC2-K の 1 ピッチあたりの注入式フォアポーリングの本数を 21.5 本として計算されています。一方で、設計図(3/6)28/141 支保パターン図(8) では DIIIa(H)-C-RC2-K の注入式フォアポーリングの本数は 22.5 本となっています。どちらの本数を正として見積もりをすればよいのかご教示ください。	DIIIa(H)-C-RC2-Kの注入式フォアポーリングの本数は、設計図に記載の1ピッチあたり22.5本が正となります。 ロックボルト工 G (L = 3. 0 m) の数量について、正しくは 4,540 本となります。 交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。